

城南第二小学校改築工事について

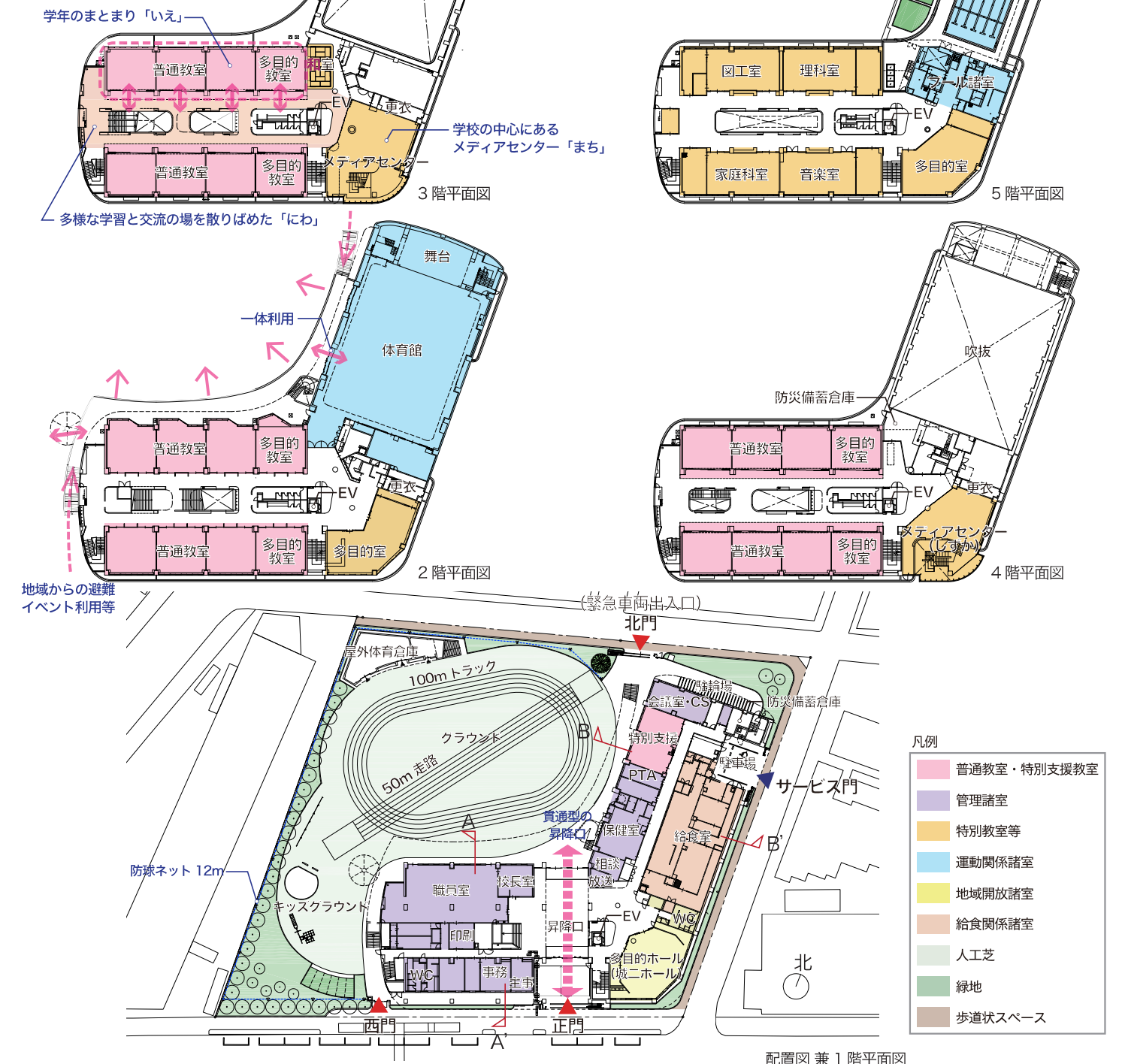
※配置、レイアウト、規模、スケジュールは今後の詳細設計および所管行政庁の指示、調査の結果等により変更が生じる可能性があります。



- ### ■建物概要
- 計 画 地：品川区東品川三丁目4番5号
 - 主要用途：小学校
 - 構 造：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
 - 階 数：地上5階建て
 - 敷地面積：6,771.06㎡
 - 建築面積：2,995.91㎡
 - 延床面積：9,640.46㎡
 - 最高高さ：21.35m

鳥瞰イメージ
(南東を望む)

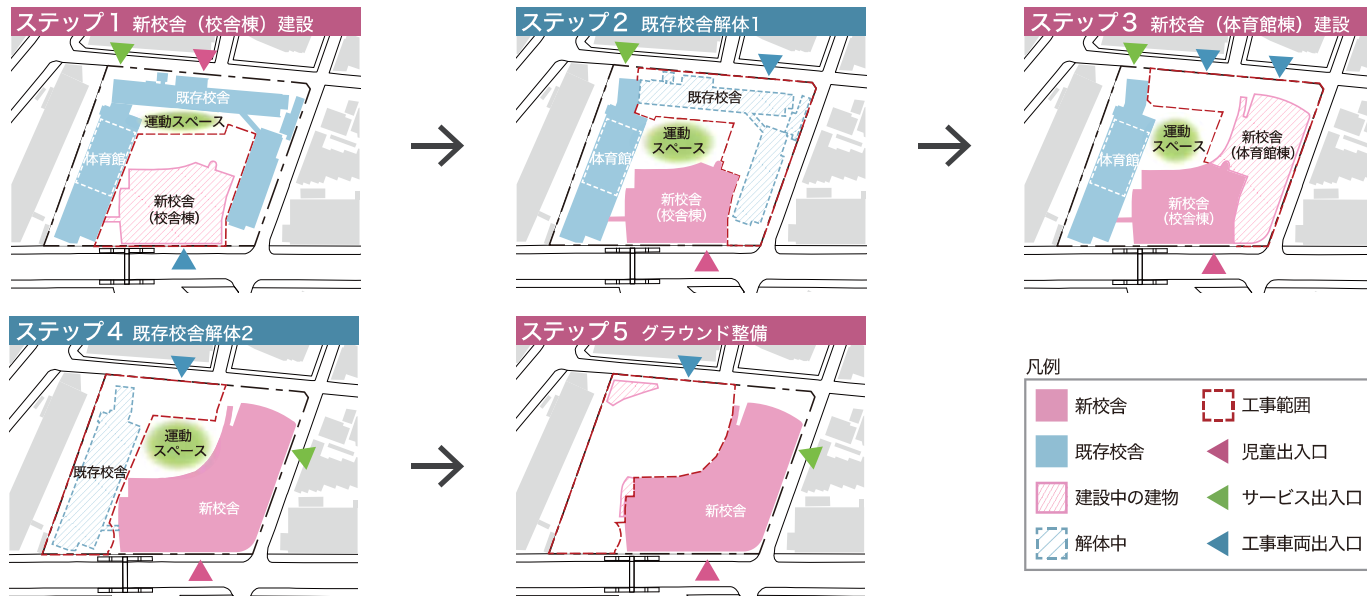
■平面計画



■コンセプト

- #### 1. 地域をつなぎ共に育てる
- 狭小敷地を有効活用したL型の建物やグラウンド配置とし、貫通型の昇降口により街や公園をつなぐコンパクトで明快なゾーニングとします。
 - 昇降口から近い位置に、地域と連携した教育活動や地域交流の拠点となる多目的ホール等を配置することで、地域にとって利用しやすい学校を計画します。
- #### 2. 周辺環境に配慮した学び舎づくり
- 近隣建物に配慮した離隔距離の確保や、柔らかな形態・勾配屋根の採用等により、周辺への圧迫感や日影の影響を抑えた計画とします。
 - 外周部に歩道状空地や緑地帯を整備し、子どもたちや歩行者の安全性を確保するとともに、潤いのある緑で周辺環境を向上させます。
- #### 3. 子どもたちの豊かな居場所づくり
- 観客席のような「わいわいテラス」を学校のシンボルとして整備することで、縁側の利用、日常の活動スペース、運動会時の観覧スペース等、様々な活動に利用できます。
 - 身体能力に差がある子どもたちのための運動スペース「キッズグラウンド」を整備し、子どもたちが楽しく安全に遊べる魅力的な遊具を配置します。
 - 環境配慮手法の見える化、中央の吹抜を活用した自然採光・自然通風を基本とした計画等、施設全体が環境教材となる計画とします。
- #### 4. 学習環境の選択肢を広げる
- 学年のまとまりとしての教室を子どもたちが落ち着ける「いえ」、ワークスペース等の多様な学習と交流の場を散りばめた吹抜周りのオープンな空間を「にわ」、メディアセンターや特別教室を多様な情報が得られる「まち」として、施設全体が学びの場となるよう整備します。
 - 学校の中にメディアセンターを配置することで、教室との連携や日常利用を促し、楽しく主体的に学習できる心地よい学習環境をつくります。
- #### 5. 安全・安心をかたににする
- ハザードマップを踏まえ、水害時でも水没しない2階レベル以上に避難場所となる体育館と教室を配置し、「わいわいテラス」により災害時の避難ルートや滞留スペース、避難が長期化した際の独立動線として、それらをつなぐ計画とします。
 - 正門やグラウンドに面した管理諸室により、子どもたちが安心して学習できる環境をつくります。

■建替計画



■建替工程

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	引越				
ステップ1 新校舎(校舎棟)建設 21.0ヵ月		ステップ2 既存校舎解体1 9.0ヵ月		ステップ3 新校舎(体育館棟)建設 16.0ヵ月	
		ステップ4 既存校舎解体2 7.0ヵ月		ステップ5 グラウンド整備 10.0ヵ月	

■断面計画

